

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年12月27日

計画の名称	京都・奈良・和歌山における自転車を活用した広域観光活性化計画													
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	京都府													
計画の目標	多くの歴史・自然観光資源などを有する京都府、奈良県、和歌山県が連携し、観光地などの拠点施設を結ぶ広域自転車道を整備するとともに、これを活用したイベントの実施やサイクリングマップ作成などのPRを行うことにより、府県内外からの誘客を促し、自転車をツールとした観光振興や地域の活性化を図る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		650	A	650	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26	H30	H32末
1	【京都府・奈良県・和歌山県 共通目標】 京都府山城地域、奈良県北西部、和歌山県紀北地域における観光入込客数を3,975万人(H26)から4,371万人(H32)に増加(396万人(10%)の増加)			
	【京都府・奈良県・和歌山県 共通目標】 京都府山城地域、奈良県北西部、和歌山県紀北地域における観光入込客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H27の年間観光客数) / (H27年間観光客数)	3975万人	4234万人	4371万人
2	京都府山城地域における観光入込客数を1,106万人(H26)から1,200万人(H32)に増加(94万人(8.5%)の増加)			
	京都府山城地域における観光入込客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H27の年間観光客数) / (H27年間観光客数)	1106万人	1170万人	1200万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
全体事業費に占める効果促進事業(提案事業)割合は、18%となる。 その他事項については、備考-1に記載。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-001	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	修繕	(一) 京都八幡木津自転 車道線(八幡工区)	舗装・防護柵修繕 L=3.0km	八幡市						65	-		
		(1-A1-1)																		
	A11-002	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	修繕	(一) 京都八幡木津自転 車道線(上津屋工区)	舗装・防護柵修繕 L=4.0km	八幡市							70	-	
		(1-A1-2)																		
	A11-003	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	修繕	(一) 京都八幡木津自転 車道線(田辺工区)	舗装・防護柵修繕 L=3.0km	京田辺市							120	-	
		(1-A1-3)																		
	A11-004	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	修繕	(一) 京都八幡木津自転 車道線(三山木工区)	舗装・防護柵修繕 L=3.0km (うち橋梁区間3橋)	京田辺市							120	-	
		(1-A1-4)																		
	A11-005	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	修繕	(一) 京都八幡木津自転 車道線(下狛工区)	舗装・防護柵修繕 L=1.5km (うち橋梁区間1橋)	精華町							60	-	
		(1-A1-5)																		
	A11-006	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	修繕	(一) 京都八幡木津自転 車道線(祝園工区)	舗装・防護柵修繕 L=2.0km (うち橋梁区間1橋)	精華町							30	-	
		(1-A1-6)																		

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-007	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	修繕	(一)京都八幡木津自転車道線(木津工区)	舗装・防護柵修繕 L=2.0km (うち橋梁区間3橋)	木津川市						65	-		
		(1-A1-7)																		
	A11-008	提案	一般	京都府	直接	京都府	-	支援事業	自転車利用促進事業	サイクリングマップ作成	八幡市、京田辺市、精華町、木津川市						27	-		
		(1-A1-8)																		
	A11-009	提案	一般	京都府	直接	京都府	-	支援事業	自転車案内標識整備事業	サイン整備等	八幡市、京田辺市、精華町、木津川市						77	-		
		(1-A1-9)																		
	A11-010	提案	一般	京都府	間接	京都市	-	支援事業	自転車利用促進事業	サイクリングマップ作成	京都市						3	-		
		(1-A1-10)																		
	A11-011	提案	一般	京都府	間接	京都市	-	支援事業	自転車案内標識整備事業	サイン整備等	京都市						13	-		
		(1-A1-11)																		
											小計						650			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						650		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本整備計画の連携先である奈良県、和歌山県と本整備計画作成主体である本府道路主管課において相互に調整を行い、実施する。	令和4年12月
	公表の方法 インターネット（京都府HP）での公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>一般府道 京都八幡木津自転車道線（八幡工区等）において、舗装修繕に加えて道路拡幅（地先境界ブロック等を使用した路肩補強）、防護柵の修繕を行った結果、自転車交通の流れがスムーズとなり、自転車走行空間の安全性が向上した。 3府県連携でサイクリングマップの作成を行うことで、さらなる観光客の誘致を図り、観光振興や地域の発展に寄与したものと考えられる。</p> <p>○京奈和自転車道ルート上の自転車交通量 ・調査箇所：【京都八幡木津自転車道線（上津屋工区）】八幡市上津屋地内（上津屋橋付近） ・調査結果：【整備前（H29.5）】1,718台/日、【整備後（R3.10）】1,283台/日 ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、整備前後で自転車交通量が減少したものと考えられる。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>本計画は、京奈和自転車道のうち、一般府道京都八幡木津自転車道線を中心とした整備を進めてきたが、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、京都府山城地域の観光拠点へのアクセス道路として、京都八幡木津自転車道線を補完するサイクルルートの整備等を進めることとする。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	京都府山城地域、奈良県北西部、和歌山県紀北地域における観光入込客数		
	最終目標値	4371万人	令和元年度の実績値では4,974万人となったものの、最終目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。実績値【京都府】H26：1,106万人、R2：795万人（<参考> R1：1,328万人）【奈良県】H26：1,739万人、R2：1,066万人（<参考> R1：2,252万人）【和歌山県】H26：1,130万人、R2：984万人（<参考> R1：1,394万人）代表的な拠点施設【京都府：石清水八幡宮】H26：108万人、R2：99万人（R1：105万人）【奈良県：古都奈良の文化財】H26：515万人、R2：282万人（R1：817万人）【和歌山県：道の駅柿の郷くどやま】H26：51万人、R2：50万人、（R1：53万人）
	最終実績値	2845万人	
2	京都府山城地域における観光入込客数		
	最終目標値	1200万人	令和元年度の実績値では1,328万人となったものの、最終目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。【代表的な拠点施設の観光入込客数】・石清水八幡宮 H26：108万人、R2：99万人（<参考> R1：105万人）
	最終実績値	795万人	